

市役所 あそびやこぼれや 2011

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

6.18(土) 愛童園落成式典

昨年6月から改築工事を行っていた児童養護施設「愛童園」(夜須町)が完成し、在園児童ら約120人が落成を祝いました。

愛童園は、県東部の児童養護施設として昭和36年に開園し、現在、3~18歳の23人が生活しています。総工事費は約2億4,200万円、延べ床面積が約1,093㎡の鉄筋コンクリート2階建てで、災害時に避難場所としても利用ができる地域交流スペースや太陽光発電が新たに設置されています。



福祉事務所 ☎ 57-8509

6.28(火) 市役所本庁で避難訓練を実施

香南市内で震度5弱の揺れが予想されるという「緊急地震速報」の受信を想定した訓練が行われました。職員は机の下に隠れるとともに、来庁者に落ち着いて行動するように声をかけました。揺れが収まると、職員らは駐車場へ集合。消防署員から「まずは、自らの命を守り、的確な判断で、迅速に来庁者を安全な場所に避難誘導してほしい」と講評がありました。



消防本部 ☎ 55-4141

7.1(金) 社会を明るくする運動

「第61回社会を明るくする運動強調月間」と「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」に合わせ、街頭パレードが行われました。香南保護区保護司会をはじめ、日ごろから更生保護に取り組む関係機関より約100人が参加。出発式を行った後、広報車を先頭に「ふれあい対話がある明るい社会を作りましょう」と呼びかけながらパレード。フジグラン野市とマルナカ野市店で、買い物客らにチラシやうちわなどを配布し、啓発に努めました。



福祉事務所 ☎ 57-8509

7.8(金) 差別のカラクリを考える

7月10日から20日までの「部落差別をなくする運動」強調月間に合わせ、人権作文の発表と講演会がのいちふれあいセンターで行われました。「差別のカラクリを考える」と題して講演した近畿大学人権問題研究所教授の奥田均さんは「部落差別は人ではなく土地が対象になっている差別。同和地区出身者と見なされる可能性を避けようとする忌避意識からくるもの。自分の中にある忌避意識を克服しよう」と訴えました。人権課 ☎ 57-8507



姉妹都市八重瀬町の派遣職員に中学生がインタビュー 総務課 ☎ 57-8500

インタビュー ~宮里兼也さんを紹介しよう~

教育委員会
宮里兼也(29)



Profile
★入庁:平成22年4月
★趣味:ドライブ・カラオケなど
★特技:すぐ人と打ち解ける
★独身・彼女なし

香南市の姉妹都市、八重瀬町。行政や教育、文化、産業などを互いに学び合うための人事交流が、6月1日から11月30日までの予定で始まりました。香南市からは山本正志さん。そして、八重瀬町からは宮里兼也さんです。

宮里さんは、八重瀬町の企画財政課で『まちづくり』を担当していました。八重瀬町の良いところを聞くと「香南市と同じで、海と畑が多く、都市と田舎の両方を併せ持つ素敵な『まち』です。特に貝志頭城址から眺める海は絶景です」と話してくれました。

また、今回の派遣が決まったときは、うれしい気持ちと同時に「合併後、初の人事交流ということもあってプレッシャーを感じたんです。そんな宮里さんに高知県の印象について聞いてみると「高知は沖繩と似ていると思う。新しく来た人をおもてなしの精神で迎えてくれる感じが似ている。また、高知県の進める再生紙の利用や、地産地消などは見習いたい」と話されました。これからは、よさこいなどのイベントを通じて多くの人と交流を深めたいと思います。

熱中症 多発!

熱中症とは、「熱に中(あた)る」ことによって発生する病気で、屋外、屋内を問わず、暑熱環境で発生する健康障害のことです。

市内では熱中症で救急搬送される方が最近増加傾向にあります。特に体温調節機能が未発達な「幼児・小児」、また体温調節機能が衰えてくる「65歳以上の高齢者」は熱中症になるリスクが高いとされています。熱中症が場合によっては「死に至る病」となることの恐ろしさを十分に認識し、予防と対策に努めることが大切です。



熱中症は予防が大切です。暑い時は熱中症の兆候に注意し、おかしい場合には早めに休むことです。そして、万一の緊急事態に備え、救急処置を知っておきましょう。

問い合わせ
市消防本部 ☎ 55-4141

予防対策

- ① **体調の管理**…「睡眠不足」「過労」「二日酔い」「風邪などの病気」で体力がおちている時に、暑い外を歩き回ったり運動をしないこと。
- ② **環境の調整**…「風通しの良い」「吸湿性のある」服装、外出時には帽子や日傘を準備する。外出時には、時おり涼しい木陰やクーラーのある室内で休憩をとる。
- ③ **水分補給と塩分補給**…ほどほどの冷たい水をこまめに飲む。大量に汗をかくことは水分だけでなく塩分も同時に失われています。塩分が不足することで「熱けいれん」を起こす可能性があります。適した飲み物としてスポーツドリンクがありますが、摂取カロリーが気になる方は少し薄めて飲むようにしてください。

熱中症の症状と応急処置のポイント!

熱疲労

症状

「顔色が悪い」「めまい」「吐き気」「頭痛」「疲れやすい」「力が入らない」「フラフラする」などの症状

応急措置 涼しい場所で水分補給

涼しい場所に運び、衣服をゆるめて寝かせ、水分を補給すれば通常は回復します。足を高くし、手足を末梢から中心部に向けてマッサージするのも有効です。吐き気やおう吐などで水分補給ができない場合には病院に運び、点滴を受ける必要があります。

熱けいれん

症状

筋肉の「けいれん」や「つり」、とくに「ふくらはぎ」や「腕の筋肉」

応急措置 生理食塩水を補給

生理食塩水を補給すれば通常は回復します。

熱射病

(日射病)

症状

「行動や判断にミスが多くなる」「顔面が紅潮する」「皮膚が乾燥する」「発汗が停止する」「言動がおかしい」「意識がもうろう、または失う」などの症状

応急措置 体を冷やしながら一刻も早く病院へ

死の危険のある緊急事態です。体を冷やしながら集中治療のできる病院へ一刻も早く運ぶ必要があります。いかに早く体温を下げて意識を回復させるかが予後を左右するので、現場での処置が重要です。

熱射病が疑われる場合には、直ちに冷却処置を開始しなければなりません。冷却は、皮膚を直接冷やすより、全身に水をかけたり、濡れたタオルを当てて扇ぐ方が、気化熱による熱放散を促進させるので効率がよくなります。また、頸部、腋下(脇の下)、鼠径部(大腿部の付け根)などの大きい血管を直接冷やす方法も効果的です。